

【問い合わせ先】

青森海上保安部

交通課長 井上 昭義

Tel.017-734-2422



令和5年1月6日

青森海上保安部

令和4年における海難発生状況について（速報値）

青森海上保安部管内

船舶海難 : 14隻 (2隻増) うち死者・行方不明者 : 1人 (1人増)
船舶事故※¹ : 7隻 (1隻減) うち死者・行方不明者 : 1名 (1人増)
人身海難 : 30人 (3人増) うち死者・行方不明者 : 14人 (1人増)
人身事故※² : 12人 (5人減) うち死者・行方不明者 : 5人 (4人減)

青森県内

船舶海難 : 24隻 (4隻減) うち死者・行方不明者 : 1人 (1人増)
船舶事故※¹ : 14隻 (7隻減) うち死者・行方不明者 : 1人 (1人増)
人身海難 : 49人 (9人減) うち死者・行方不明者 : 19人 (9人減)
人身事故※² : 18人 (18人減) うち死者・行方不明者 : 7人 (9人減)

() 内は前年比件数

【船舶海難の特徴】

青森海上保安部管内では、船舶用途別で見ると漁船5隻、(前年比-1隻)、プレジャーボート8隻(前年比+4隻)、となっており、全体の船舶海難隻数は、ほぼ前年どおりとなっていますが、運航不能（機関故障等）によるプレジャーボートの船舶海難隻数は増加しています。

また、プレジャーボートによる船舶海難（8隻）のうち5隻（前年比+5隻）はミニボートによる船舶海難となっています。

【人身海難の特徴】

青森海上保安部管内では、漁船による人身海難が7人(前年比+2人)と前年よりも増加していますが、うち海中転落により死亡したものが1名（前年比-3人）となっており漁業者の海中転落による死者は前年よりも減少しています。

また、マリンレジャー※³に伴う海浜事故では、釣り中の海難が6人(前年比-2人)であり、うち海中転落により死亡した者が1人（前年比-2人）となっており前年より減少しています。

<今後の取り組み>

青森海上保安部では、救命胴衣等必要な装備の装着及び正しい着装について指導を強化するとともに、プレジャーボート所有者等に対して、最新の気象・海象の把握及び主機関の定期的な点検等を重点的に呼びかけていきます。

※1 船舶事故：船舶海難のうち、船舶の運航に関連した損害が生じた事故

※2 人身事故：人身海難のうち、自殺、病気及び原因不明の漂流・漂着死体を除き、海上又は海中における活動中に死傷者が発生した事故

※3 マリンレジャー：海水浴（遊泳）、SUP、釣り、磯遊び（潮干狩り等）、サーフィン、スクーバダイビングなど海で楽しむレジャーの総称